

令和八年度 専門入学試験問題

国語

注意 答えはすべて解答用紙に記入すること。

純真高等学校

次の文章を読んだ上で、後の問いに答えなさい。

コミュニケーションにおいて私たちが他人とやり取りするものは何でしょうか？ すぐに「言葉」とか「意味」などという答えが浮かんでいますが、つきつめて考えれば、それは「自分が相手に伝えたい内容」であるはずです。ここではそれを「意図」と呼ぶことにします。（A）

「意味」と「意図」という言葉は、日常生活ではほとんど同じ意味に使われますが、ここでは次のように区別したいと思います。意味は「単語や文そのものが表す内容」で、意図は先ほど述べたとおり「話し手が聞き手に伝えたい内容」です。「どちらも同じじゃないの？」と思われるかもしれませんが、厳密には違います。実のところ、意味と意図は必ずしも一致しません。

（B）時代劇などで使われる合い言葉の「山」と「川」は、自分が仲間であるという意図を相手に伝える機能を持っています。ここで、「山」と「川」という言葉そのものが表す内容と、「お前は仲間か？」「そうだ、仲間だ」という「伝えたい内容（意図）」の間には、^①直接関係はありません。ただ単に、「仲間かどうかを確かめるために『山』『川』という言葉を使う」という事前の取り決めに従って、言葉そのものが表す内容とは関係のない「意図」をやり取りしているのです。

ダチヨウ倶楽部^{くらぶ}の上島竜兵さんの有名な言葉「絶対に押すなよ」も、意味と意図の違いを示す上で分かりやすい例です。よく知らない方のために説明しますと、以前とあるテレビ番組で、出演者が熱湯風呂に入ることを売りにしているコーナーがありました（ただし、実際はお風呂のお湯は熱湯ではなく、適温だったそうです）。そのコーナーでは毎回上島さんがお風呂に入るのが「お約束」だったのですが、上島さんはヨクソウ^aのへりに上るときにいつも他のメンバーの方をケイカイ^bしていました。なぜかというと、他のメンバーに背中を押されて、いきなりお風呂に落とされる可能性があるからです。しばらくの間、ヨクソウのへりにいる上島さんは、背後にいる他のメンバーに「押すなよ」と言い続けます。そして、最後には上島さんがメンバーに「絶対に押すなよ」と言い、その次の瞬間にお風呂の中に落とされます。これがよくあるパターンだったわけです。

すでに多くの人に知られていることではありますが、実はダチヨウ倶楽部のメンバーの間では、上島さんの「絶対に押すなよ」という言葉が「押せ」という合図になっていました（つまり上島さんは、「絶対に押すなよ」ということで、「風呂の中に落ちる準備ができたから、今は押していいタイミングだ。だから押せ」ということをメンバーに伝えていたのです）。これも一種の符丁ですが、文そのものが表す内容（「絶対に押すなよ」と、そこに込められた意図（「押せ」）が正反対になっているという意味で、面白い例だと思います。（C）

以上の例で、意味と意図が必ずしも一致しない場合があることはお分かりいただけたことと思います。もちろん、合い言葉そのものは私たちの日常に多く登場するものではありません。しかし、意味と意図のずれや不一致は、私たちが認識しているよりも頻繁に起こっています。その原因の一つが、

単語や文の曖昧さです。

単語や文のほとんどは曖昧で、複数の異なる内容を表します。(D) 私たちは多くの場合、言葉の曖昧さにうまく対処しているため、普段はそれほど曖昧さを意識することはありません。

言葉を聞く私たちは、ほぼ無意識ながら、頻繁に「どれがこの人の意図なのか」を推測しています。

言葉の曖昧さと聞いて、多くの方はまず「同音異義語」を思い浮かべられるのではないのでしょうか。

世の中にはそのような言葉がたくさんあります。「橋」と「端」、「汚職事件」と「お食事券」、「帰省中」と「^Ⅲ」など、数え上げたらきりがありません。日本漢字能力検定のウェブサイトによれば、「こうしよう」という音を持つ同音異義語は四十八個もあるそうです。

一休さんのとんち話に出てくる「このはしわたるべからず」のエピソードは、同音異義語によって起こる曖昧さを利用して、聞き手が話し手の意図とは異なる解釈をわざと選ぶ例です。一休さんを困らせようとして「このはしわたるべからず」という立て看板を出した桔梗屋さんは、「橋」を意図して「はし」と書きました。しかし、一休さんはわざと「端」だと解釈して、まんまと橋の真ん中を渡ります。この文の曖昧さは、「はし」が「橋」と「端」のどちらにも解釈できる「同音異義語」であることと、「橋」と「端」の両方が「^Ⅳ」ことのできるもの「^Ⅴ」であることから生じています。

同音異義語の多くは、「意味はまったく違うけれども、音がたまたま同じ」であるような言葉です。しかし、これとはまた別に、一つの語がたくさんの意味を持つケースもあります。辞書を見てみれば「^Ⅴ」ですが、ほとんどの言葉には複数の語義があります。「犬」にはイヌ科の動物という語義に加え、「会社の犬」「国家の犬」などのように「組織に飼い慣らされた人」という語義もあります。「食う」という動詞にも、「食べ物を食べる」という語義と、「ガソリンを食う」という表現に見られるような「^Ⅵ」という語義があります。これらのように、複数の語義を持つ語のことを「多義語」と言い、語に複数の語義があることを「多義性がある」などと言います。

多義性は、辞書に載っているような語だけでなく、商標名などにも見られます。知人に聞いた話ですが、あるお店でアルバイトをしている学生さんが、アルバイト先の店長さんに「今日は暑いね。悪いけど、アリナミン(武田薬品が売り出している栄養剤)を買ってきてくれないかな」と頼まれたそうです。店長さんがそう言ったのは、暑くて喉が渴いており、アリナミンのドリンク剤を飲みたいと思ったからでした。しかし学生さんはそれが分からず、薬局で錠剤の方を買ってきってしまったそうです。ちなみに筆者も、知人から「ハイター(花王が販売する^①ヒョウハク剤)を買ってきて」と頼まれ、台所用のハイターを買っていったところ、「洗濯用のハイターが欲しかったのに」と言われたことがありました。私の場合は、たまたまスーパーで目付いた「ハイター」が台所用で、洗濯用のものもあることに気づかなかったので、相手の意図に沿うことができませんでした。^②なかなか難しいものです。

問一 二重傍線部 a ～ d の片仮名を漢字に、漢字を平仮名に改めなさい。

問二 傍線部①の反対の意味を表す言葉を漢字二字で答えなさい。

問三 本文中の Ⅰ ・ Ⅱ に当てはまる語句として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア そして イ しかし ウ つまり エ だから

問四 次の一文は本文中の (A) ～ (D) のどこに入るのが適当か、記号で答えなさい。

意味と意図が一致しない事例のうち、一番極端なものはいわゆる「符丁(合い言葉)」です。

問五 本文中の Ⅲ に当てはまる語句を漢字で答えなさい。

問六 本文中の Ⅳ に入る言葉を本文中から抜き出して答えなさい。

問七 本文中の Ⅴ に当てはまる語句として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 岡目八目 イ 一刀両断 ウ 一目瞭然 エ 用意周到

問八 本文中の Ⅵ に当てはまる語句として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 飲み込む イ 消費する ウ 浪費する エ 使いこなす

問九 傍線部②について、なぜ日本語は難しいのか。次の条件のもと、自分で考えて書きなさい。

- (1) 「日本語には」に続けて書くこと。
- (2) 「曖昧」という言葉を使うこと。
- (3) 三〇字以内で答えること。ただし、句読点を含む。

国語常識に関する次の問いに答えなさい。

問一 次の空欄に入る漢字を一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

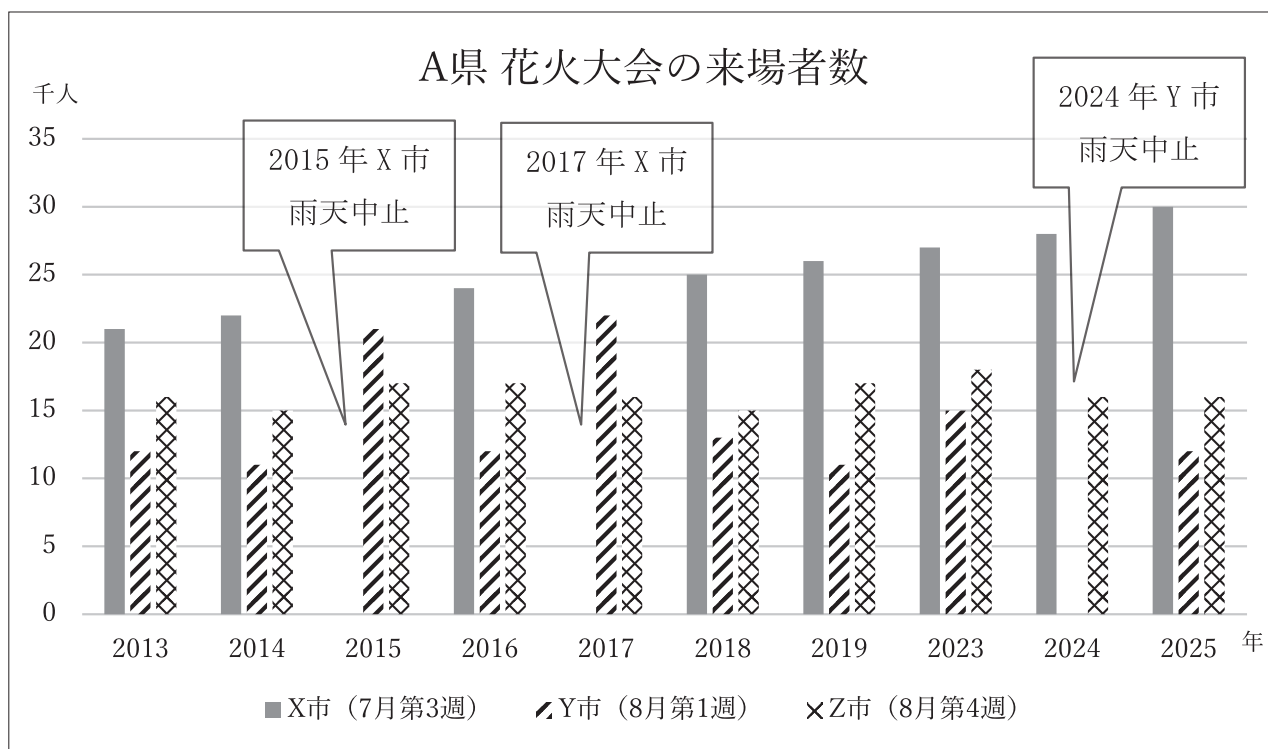
- ① () をひそめる……心配事や不安な気持ちを表すしぐさ。
- ② () に衣着せぬ……相手に遠慮せず、率直に言うこと。
- ③ () が鳴る……自分の技量を発揮したくてたまらないこと。
- ④ () を落とす……がっかりして、氣力を失うさま。
- ⑤ () が低い…………人に対する態度が謙虚であること。

ア	腰	イ	齒	ウ	口	エ	舌	オ	手
カ	腕	キ	眉	ク	耳	ケ	肩	コ	首

問二 次の意味に合う四字熟語を一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① じつくりと機会をうかがう様子。
- ② 物事を自分の都合のいいように進めること。
- ③ 後にも先にもないと思われるほど珍しいこと。
- ④ 小さな集団でもその長になったほうがよいということ。
- ⑤ 周囲すべてが敵で、孤立している状態。

ア	四面楚歌	イ	異口同音	ウ	鶏口牛後	エ	我田引水
オ	空前絶後	カ	疑心暗鬼	キ	虎視眈々	ク	巧言令色



このグラフは、二〇一三年から二〇二五年までのA県内で開催された三つの都市の花火大会の来場者数を表している。X市が七月第三週、Y市が八月第一週、Z市が八月第四週に開催されており、各都市ごとに特徴が見られる。なお、二〇二〇年～二〇二二年はコロナウイルス感染拡大の影響でどの都市も開催中止となっている。

まず、X市の花火大会は雨天の影響を強く受けている。二〇一五年と二〇一七年は中止となり、グラフに数値が示されていない。これは開催時期が梅雨明け直後であり、天候の影響を受けやすいことと関係していると考えられる。しかし、開催された年は、すべての年で来場者数が（A）万人を超えており、他の都市に比べて規模が大きいのことが分かる。

次に、Y市の大会は他都市と比べると規模が小さく、毎年一人一人、五万人程度の来場者を集めている。中止になったのは二〇二四年の一度だけであり、X市が中止になった年は例年より来場者数が（B）人以上増加している。また、開催時期が夏休みの始まりにあたることから、観光客や帰省客を呼び込みやすいという特徴が推定される。

Z市の花火大会は来場者数はおおむね（C）万人前後で推移している。突出した増加や減少は見られず、雨天による中止は一度もない。夏休み終盤の開催という时期的特徴から、大規模な集客には結びつかないが、安定して開催されている点は評価できる。

以上のことから、A県の三都市で開催される花火大会は、「(D) X市」

「E市」「F市」「Z市」という三つの特徴に整理できる。

どの都市も安定した集客や、来場者数の増加のためにはグラフから読み取れる数値の違いを確認しながら、それぞれの都市の特徴を正しく理解することが求められるだろう。

問一 (A)・(B)・(C)に入る数値を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

A.. ア 二.〇 イ 二.五 ウ 三.〇 エ 三.五

B.. ア 五百 イ 千 ウ 五千 エ 一万

C.. ア 一.〇 イ 一.五 ウ 二.〇 エ 二.五

問二 (D)・(E)・(F)にはそれぞれの都市の特徴を説明した言葉が入る。その組み合わせとして正しいものを

を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア.. D 雨天の影響を受けやすく規模が小さい E 他都市に比べると規模が小さい F 例年来場者数にバラつきがある

イ.. D 雨天の影響を受けやすく規模が小さい E 他都市と比べても規模が大きい F 安定した開催と集客が見込める

ウ.. D 雨天の影響を受けやすいが最も規模が大きい E 他都市と比べても規模が大きい F 例年来場者数にバラつきがある

エ.. D 雨天の影響を受けやすいが最も規模が大きい E 他都市に比べると規模が小さい F 安定した開催と集客が見込める

問三 資料から読み取れることとして正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア X市の花火大会では、二〇一三年から二〇二五年までの間で、来場者がおよそ十万人増えた。

イ X市の花火大会の来場者数は年々増加しているが、Z市の花火大会の来場者数は減り続けている。

ウ Y市の花火大会の来場者数は例年一万五千人以下だが、X市の花火大会が雨天中止になった年は二万人を超えている。

エ Y市の花火大会が雨天中止になった年は、X市・Z市ともに花火大会の来場者数が前年より増加している。

四

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

昔、大変な修行を積んだ徳の高い聖がいた。

かやうに貴く^{注1}行ひて過す程に、その比^{注2}延喜の御門、重く煩はせ給ひて、さまざまの御祈ども、御修法、

重く煩はせ給ひて、さまざまの御祈ども、御修法、
重い病氣におなりになつて

御読経など、よろづにせらるれど、更にえ^{注5}怠らせ給はず。ある人の申すやう、「河内国信貴と申す所に、こ

の年来行ひて、里へ出づる事もせぬ聖候なり。それこそいみじく貴く験ありて、鉢を飛し、さて居ながら、よ

長い年月

おります

祈りの効き目

そうしていながら

ろづあり難き事をし候なれ。それを召して、祈らせさせ給はば、怠らせ給ひなんかし」と申せば、「さらば」とて、

蔵人を御使にて、召しに遣はす。

行きて見るに、聖のさま殊に貴くめでたし。かうかう^{注8}宣旨にて召すなり、とくとく参るべき由いへば、聖、「何

これこれの

早く早く

理由

しに召すぞ」とて、更々動きげもなければ、「かうかう、御悩大事におはします。祈り参らせ給へ」といへば、「そ

御病苦

れは参らずとも、ここながら祈り参らせ候はん」といふ。「さては、もし怠たらせおはしましたりとも、いかでか

聖の験とは知るべき」といへば、「それが誰が験といふ事、知らせ給はずとも、御心地だに怠らせ給ひなば、よく

さえ

候ひなん」といへば、蔵人、「さるにても、いかでかあまたの御祈の中にも、その験と見えんこそよからめ」とい

ふに、「さらば祈り参らせんに、^{注9} 劍の護法を参らせん。おのづから御夢にも、幻にも御覽ぜば、^⑤ さとは知らせ

給へ。劍を編みつつ、衣に着たる護法なり。我は更に京へはえ出でじ」といへば、^{注10} 勅使^{ちよくし}歸り参りて、かうかう

と申す程に、三日といふ昼つかた、ちとまどろませ給ふともなきに、きらきらとある物の見えければ、いかなる

物にかとて御覽ずれば、あの聖のいひけん劍の護法なりと思し召すより、御心地さはさはとなりて、いささか心

さわやかに

苦しき御事もなく、例ざまにならせ給ひぬ。

いつもの様子

『日本古典文学全集』「宇治拾遺物語」一部改変

注1 行ひて……仏道修行をして

注2 延喜の御門……醍醐天皇。

注3 御修法……国家または個人のために加持祈禱する儀式。

注4 御読経……僧侶や仏教徒が経典を声に出して読むこと。

注5 愈る……病気が治る

注6 鉢を飛ばし……この聖は修行による神通力で鉢を飛ばし、施しを受けていた。

注7 蔵人……天皇のおそば近くに仕える役人。

注8 宣旨……天皇の命令を伝え述べること、またその文書。

注9 劍の護法……毘沙門天の護法童子。病氣平癒などの守護を司る。

注10 勅使……天皇の命令を伝えるための使者。

問一 二重傍線部 a・b を現代仮名遣いになおし、すべてひらがなで答えなさい。

問二 傍線部①⑥の主語をそれぞれ文中から抜き出しなさい。

問三 傍線部②の本文中での意味として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア すばらしい イ めでたい ウ 近寄りがたい エ 偉そうだ

問四 傍線部③と同じ人物を指した別の表現をさがして抜き出しなさい。

問五 傍線部④の本文中の意味として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア たくさんの祈願の中で一番効果が出ていないと思われた方がいいでしょう。
イ たくさんの祈願の中で自分のものが効いていると分かった方がいいでしょう。
ウ 天皇からの祈願の願いを断ったことに対する謝罪をした方がいいでしょう。
エ 天皇からの祈願の願いを受け入れたという証拠を見せた方がいいでしょう。

問六 傍線部⑤「さ」とは何を指しているか、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 聖が天皇の病氣平癒のために祈っていること。
イ 聖が天皇の命令に従い、京に来ていること。
ウ 聖が自分の代理で剣の護法を京に行かせていること。
エ 天皇の病氣が今どういう状態であるかということ。

問七 本文中に使われている擬態語を五字以内で抜き出しなさい。

問八 本文の内容と合致するものはどれか、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 聖は天皇の病気を聞くと、すぐに都に出かけて行った。
- イ 聖は蔵人の説得に応じず、天皇の元へ行かなかった。
- ウ 聖の祈願により、天皇は極楽に行くことができた。
- エ 剣の護法の力で天皇は病気を治すことができた。

